

平成31年度学校自己評価システムシート (県立浦和第一女子高等学校・定時制)

目指す学校像	一人一人が大切にされ、落ち着いた学べる教育を推進し、社会ではばたく力を育てる。
--------	---

重点目標	1 「授業がいのち」を合い言葉に、一人一人の資質・能力に応じた丁寧な指導を通して基礎学力の充実を図る。 2 生徒の実態に即したきめ細かな指導を通して将来への展望を拓かせる。 3 地域社会・保護者等と連携した教育活動を推進する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	7名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	11名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】 生徒間の学力に差はあるが、全体として学習意欲はあり、授業についての満足度も高い。一人一人の進路、資質・能力に応じた授業展開を行う必要がある。 【課題】 ・「授業がいのち」という学校文化を伝承させる。 ・基礎学力の充実と質の高い授業展開を図る。 ・外国籍生徒に対する支援を引き続き行う。	生徒が主体的に参加し、学ぶ意欲を高めるための質の高い授業改善を行う。 個々の生徒の状況に応じた支援を行い、基礎学力を充実させる。	①生徒の資質・能力に応じた授業形態、指導方法を工夫する。生徒の課題に応じた授業研修会を行う。 ②教務部、生徒指導部を中心に授業規律を高める。 ①多文化共生推進員と連携しながら、外国籍生徒に対する日本語指導と、授業支援を行う。 ②教務部を中心に、学びの基礎診断、学習サポートを通じて、学び直しと、学習習慣を確立させる。	①授業アンケートで授業において「おおむね満足」と回答している生徒が9割以上であるか。 ②欠点保有者が減少したか、成績優秀者が増加したか。 ①外国籍生徒の日本語能力が向上したか。授業における理解度、満足度は向上したか。 ②学習サポート参加者の出席率は高まったか。	【学習意欲を高めるため、PDCAサイクルを活用した授業改善を行った】 ①授業アンケートでは、授業の満足度に関するすべての項目で9割以上の生徒が「おおむね満足」と回答している。 ②欠点保有者は昨年同期より4名増加し、9名であった。成績優秀者は18名で、昨年同期より4名増加した。 【多様な生徒の学習歴に応じた支援が充実できた】 ①多文化共生推進員と連携し、個別の指導計画に沿って指導することで、日本語運用能力が向上した。 ②学習サポート参加者の出席率は68%であり、昨年度より減少した。昨年度入学時より皆勤の生徒が1名である。	A	○新学習指導要領を見据えた、一人一人の資質・能力に対応した授業改善を継続することで、「授業がいのち」という学校文化の一層の定着を図る。 ○卒業後の就職、進学を見据え、日本語能力検定取得や、日本語と教科の統合学習を更に推進する。 ○新入生の学習習慣定着を図るため、学習サポート体験期間を取り入れるなど、参加率を向上させる取組を行う。
2	【現状】 4年間を見据えた系統的な進路指導体制が整っているが、確実な進路決定を目指す必要がある。生徒主体の充実した学校行事が行われている。部活動も盛んである。 【課題】 ・少人数でも効率的な生徒会行事運営を行う。 ・進路計画に応じた、学年ごとの進路目標を実現させる。 ・進学希望の生徒への支援を充実させる。 ・校外での体験活動やアルバイト等を推奨する。	学校生活と学校行事等をより充実させることで、学校への定着を高める。 4年間を見据えた、教科領域横断的で系統的な進路指導を実施する。	①生徒指導部を中心に、通年で生活習慣の確立に向けた指導を強化する。 ②生徒会を中心に、行事等に運営させることで、生徒の自己肯定感を喚起する。 ③保健部、担任を中心に、教育相談的な対応を行うとともに、健康管理意識を高める。 ①進路指導部が策定した進路指導計画をもとに、全職員が一人一人の進路希望の実現に向けた指導を行う。 ②進路指導部を中心に、就職支援アドバイザーと連携し、4年生を中心に個別支援を行う。 ③教務部を中心に、学習サポートや資格取得の指導を行うことで、進学を目指す生徒への支援を高める。	①生徒の出席率は9割以上であるか。 ②学校行事等学校生活の満足度が高まったか。 ③懲戒処分や安易な進路変更を防止できたか。 ①進路行事等の振り返りシートの記述に進路意識の高まりが見られたか。 ②生徒のアルバイト等の就労状況は高まったか。4年生が希望の進路を実現できたか。 ③学習サポート等で上級学校進学や、資格取得のための学習を行っているか。	【個に応じた指導と、学校行事の充実により学校への定着を高めた】 ①生徒の出席率は2学期末現在、87.1%である。 ②学校生活に関するアンケートでは、8割近くの生徒が「学校行事は楽しい」と回答するなど、満足度が高い。 ③生徒一人一人を大切に丁寧な指導と家庭との連絡・連携により、懲戒処分や安易な進路変更は防止できた。 【進路指導部・担任・外部機関との連携により系統的な進路指導ができた】 ①進路指導計画に沿って、外部講師・企業担当者からの指導を通して、進路意識の高まりが見られた。 ②5月末時点から、新たに10名がアルバイト等に就労した。一般受験するものを除き、4年全員が希望の進路を実現できた。 ③学習サポートにおいて、英検、漢検などの指導を行った。	A	○担任・保護者と連携し、生活習慣の確立や学習意欲を高めさせることで、安易な理由での欠席をなくす。 ○少人数である長所を生かした学校行事を企画することで、生徒の自己肯定感や学校生活の定着を高める。 ○学習サポーターの専門分野を、進学を目指す生徒に還元できるよう指導方法の改善を行う。 ○1年次から進路目標を持たせるよう、外部機関と連携しながら職業観・勤労観の育成を行う。 ○3年生からの個別支援を行うことで、進路決定と具体的な行動を早期に行わせる。 ○就職支援アドバイザーと学習サポーターの連携を密にすることで、進路と学習を連動させる取組を行う。
3	【現状】 生徒が地域行事に積極的に参加している。ホームページの定期的更新により、生徒・保護者・地域の閲覧状況は良好である。 【課題】 ・保護者の学校への関心をより高める。 ・地域の方々等に生徒を直接見ていただく機会を増やす。 ・県唯一の定時制女子高校として、中学生への本校のPRを積極的に行う。	P T A活動を活性化する。 地域社会との連携を深める。	①P T A部を中心に、保護者にP T A行事、学校行事への参加を促す。 ②担任を中心に、生徒の様子を家庭に対して逐次連絡する。 ③職員がホームページを通して、生徒の活動の様子などを発信する。 ①教務部を中心に、講演会等を地域に開放するとともに、ホームページ、学校公開等で中学生及びその保護者に、本校の魅力を伝える。 ②生徒会を中心に、地域行事への参加を呼びかける。	①アンケートにより学校に対する保護者の満足度が高まったか。 ②P T A行事、学校行事における保護者の参加数が増加したか。 ③ホームページの更新回数が80回以上であったか。 ①講演会、学校公開等に地域の方、中学生及びその保護者の参加があったか。 ②生徒が地域の行事に参加したか。	【P T A活動を発信することで保護者の学校満足度を高めた】 ①学校生活に関するアンケートでは、9割以上の保護者が「入学させてよかった」「魅力的な学校である」と回答している。 ②文化祭企画、体育祭などの行事に多くの保護者の参加があった。 ③2学期末現在ホームページの更新回数は109回である。 【地域と積極的な連携ができた】 ①学校説明会を2回実施することで、昨年より多くの中学生、保護者の参加があった。 ②調自治協力会4月の桜祭りと7月の夏祭りに、生徒会生徒を中心にのべ7名が参加した。	A	○ホームページ、メール配信等で学校の取組を積極的に発信することで、保護者の学校への信頼を強め、P T A活動の参加を促す。 ○新ホームページの職員研修会を行い、全教職員が更新できるようにする。 ○地域案内のお知らせをレイアウトを工夫するなどわかりやすくし、気軽に参加できるようにする。 ○地域の行事を通して、地域の方、全日制との交流が深められる機会とする。また、生徒会生徒以外の生徒が参加できるよう促す。

学 校 関 係 者 評 価	
実 施 日 令 和 2 年 2 月 2 2 日	
学 校 関 係 者 からの 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等	
<p>「授業がいのち」を合言葉に、先生方が工夫して授業をしている。生徒からも「授業は楽しい」という感想が多い。特に、体育や家庭科などの、いわゆる実技教科の満足度が高いことは、生徒が主体的に参加しているからであろう。</p> <p>学習サポートもしっかり行っている。やや参加者が減少しているのが気になる。来年度は多くの生徒が参加してほしい。</p> <p>外国籍生徒への支援も大変ありがたい。今後も多文化共生推進員と連携して、外国籍生徒の日本語能力の向上と進路指導をお願いしたい。</p>	
<p>進路指導は、特に、川口サポートステーションや就職支援アドバイザーの方々との個別面談が大変良い。自らを見つめ、学校生活や上級学校について深く考え、行動する機会となったのではないかと。また、様々な分野の方を呼んでの講演会など、バラエティに富んだ進路指導を行っている。</p> <p>行事への満足度は高いが、学年によって行事への参加意欲や、盛り上がり方に違いがあるようだ。各学年の良さを一つにまとめ、行事を企画し、実施することの大変さを感じている。</p>	
<p>ホームページがスマートフォン対応となり、とても見やすくなった。今後は、誰に向けての発信かをより明確にしていくと良いと思う。</p> <p>桜まつりでは多くの生徒の皆さんに協力していただき、また、前向きに取り組んでくれたことを感謝している。来年度は交代制で行うことで、もっと多くの地域の人たちと触れ合ってもらいたい。</p>	